



札幌市立桑園小学校 学校だより
www.soen-e.sapporo-c.ed.jp
令和8年9月30日第5号
※帰宅時刻は10月～16時30分
11月～16時

「いつも」の中にある成長

主幹教諭

私の一日は、毎朝玄関の鍵を開け、子どもたちを玄関前で迎え入れることから始まります。4月は保護者の方と離れることに不安を感じていた1年生も、今では「おはようございます！」と元気よく登校できるようになり、この半年間での確かな成長を感じます。

毎日子どもたちの姿を見ていて思うのは、全く同じ一日の始まりはないということです。挨拶をしながら子どもたちの表情に着目していると、「今日は一段と元気だな。」「いつもより少し疲れが見えるかな。」など、その日によって様々な姿に出会います。

お子さんは、家を出る時、どのような表情をしていますか。「学校が楽しみだな。」と思って登校する子もいれば、時には「あまり行きたくないな。」と、胸の内に様々な思いを抱えて登校する子もいることでしょう。入学した頃は、学校に行って帰ってくるだけで「よくできたね！」と声を掛けていたことも、時が経つにつれ、学校へ行くことが「当たり前」の日常になっていきます。そんな日々の中で、「当たり前」に学校へ向かっている姿こそ、改めて大人が価値を見出し、頑張りを認めてあげることがとても大切だと感じています。

私たち教職員は、毎日すべての子どもたちを「今日もよく来たね。」「今日も一緒に頑張ろうね。」という気持ちで迎え入れています。特別なことでなくても、子どもたちが毎日積み重ねている小さな頑張りを大切にしていきたいと考えています。保護者の皆様もぜひ、お子さんが家を出る前には笑顔で、プラスの言葉を掛けて送り出していいただければ幸いです。「いってらっしゃい!」「頑張ってるね!」といったその一言が、子どもたちの学校生活を送る元気の源となるはずです。

先週からの教育相談の場では、担任・児童・保護者の皆様と前期のお子さんの頑張りを共有し、振り返る機会をいただきました。学校でも家庭でも、共感的・肯定的なメッセージを伝え、後期も共にお子さんの成長を支えていければと考えております。引き続き、温かいご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

成長の輪を広げる学習発表会に

本校では、学年を越えて子ども同士が関わる異学年交流を大切にしています。学習発表会でも、その一環として本番前の練習を見合っ、感想を伝え合う取組を行っています。子どもたちから、本番に向けて張り切っている気持ちや、他の学年の発表を見せてもらうわくわくの声が届きました。

- | | |
|--------|--|
| 1年生 | <u>「2年生と6年生が、どのくらい「にこにこ」で、どのくらい大きな声で、どんなお勉強のことを発表するのか、観に行くのが楽しみです。」</u> |
| 2年生 | <u>「鍵盤ハーモニカの演奏をがんばりたいです。音楽の授業で習ったお手本のように上手に吹けるように練習して、みんなと一緒に学習発表会をがんばりたいです。」</u> |
| 3年生 | <u>「4年生の発表がみんなで揃っているのが楽しみです。3年生のお手本にしたいです。自分の発表は、リコーダーを姿勢よく演奏できるように頑張って練習したいです。」</u> |
| 4年生 | <u>「ダンスの振付をかんべきに覚えて、家族に喜んでもらうことができるようにしたいです!体育館の奥まではっきり聞こえるような声でがんばることを、練習でも意識してやりたいです。」</u> |
| 5年生 | <u>「4年生と6年生の心のこもった発表を見るのが楽しみです。練習より、いい本番になると思います。自分はそのような気持ちで頑張ります。」</u> |
| 6年生 | <u>「6年生は練習を全力で、真剣に取り組んでいます。自分も、仲間と協力し合い、小学校生活最後の学習発表会に向けて、頑張っています。もちまへの団結力で、絶対いいパフォーマンスにするので楽しみにしてください!」</u> |
| くわのみ学級 | <u>「チームに分かれて練習に取り組んでいます。多くの人の前での発表は、少し緊張しますが、一生懸命頑張りたいと思います。いろいろな演目があるので、他の友達の演目も楽しみです。」</u> |